

平成26年4月から  
言語聴覚士が仲間になりました!

言語聴覚士(ST)は、生まれつきの病気や脳卒中等による脳へのダメージによって、「ことば」によるコミュニケーションに問題が生じた方へ、自分らしい生活を送ることができるよう、専門的な支援を行います。

また、「食事でむせやすい」「飲み込みにくくなった」等の食べること(摂食・嚥下)の問題にも対応します。

少しだけ・・・

### 言語聴覚士 豆知識

言語聴覚士は1997年に国家資格になったりハビリテーションに関わる職種です。毎年1500人程度が言語聴覚士になり、現在は2万2千人くらいの有資格者がいます。

主に病院や施設等に勤務していますが、介護保険分野では理学療法士や作業療法士に比べて、まだまだ少ない職種です。

まずはお気軽に  
ご相談下さい。

### <訪問エリア>



対象エリア:札幌市北区、東区、西区、  
中央区、石狩市花川南

株式会社 ハナミズキ

訪問看護ステーションつぼみ

〒002-0854

札幌市北区屯田4条7丁目7-30

TEL: 011-769-0151

FAX: 011-769-0591

E-mail: tsubomi@white-love.co.jp

HP: <http://www.white-love.co.jp/>

ハナミズキ

愛するあなたへ



しゃべりにくい?

むせる?

そんな時は“つ・ぼ・み”まで

～言語聴覚士を知ろう!～



## 言語聴覚士が行う主なお仕事

### ① 失語症をお持ちの方へ

- ・ことばを思い出す練習や字の読み書き等の練習
- ・話し言葉以外の手段を活用する練習(絵や指差し等)
- ・実際のコミュニケーション場面に必要な練習
- ・より良いコミュニケーション方法についてご家族や関係する方へのアドバイス
- ・コミュニケーション環境の調整



### ② 構音障害をお持ちの方へ

- ・発声練習や発音練習、口腔の運動など
- ・相手が聞き取りやすい話し方の工夫やアドバイス
- ・文字や機器の活用等の代償手段の練習
- ・会話がスムーズになるための環境調整、ご家族へのアドバイス

### ③ 摂食嚥下障害をお持ちの方へ

- ・食べ物を使った飲み込みの練習
- ・その方の状態に合わせた食形態やとろみ等の調整
- ・安全な食事環境の調整(食事の姿勢や介助方法等)やアドバイス
- ・歯磨き方法や口腔ケアについての提案、アドバイス



## 訪問リハビリテーションで 言語聴覚士が関わる主な目的

### 「話すこと」「食べること」について

- ① 失われた機能の回復
- ② 生活スタイルの再獲得再構築
- ③ 生活機能の維持
- ④ ご本人・ご家族の介助量・ストレス軽減
- ⑤ 趣味活動や社会参加の支援

など



こんな方は

いらっしゃいませんか?



① 何を聞いても「はい」と答えてしまう方

② 会話の理解が不十分でなかなか話の内容が伝わらない方

③ 呂律が回らず、言葉が伝わりにくい方

④ 食事の時の咳で食べることが辛い方

⑤ 肺炎で何度も入院されている方

⑥ ことばや飲み込みに関する問題が原因で、趣味や外出を諦めている方



生活スタイルは様々です。ひとりひとりにあった解決策を、一緒に考えていきましょう。皆さんのお役に立てるように頑張ります。